令 和 6 年 度 事 業 計 画 書

公益財団法人
新潟県保健衛生センター

令和６年度事業計画

１．前年度の動き
２．今年度の目標
３．検査事業の計画
４．健診事業の計画
５．健康づくり支援事業の計画
６．その他の計画

第１　前年度の動き

令和５年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更されたが、健診８団体の指針に基づき、引き続き一定の感染対策を講じながら事業を行った。地域保健においては、コロナ禍の影響による受診者数の回復を目指したものの、人口減少や少子化などの影響もあり、受診者数は、コロナ禍前の水準には届かず、全体的な事業量に影響している状況である。

Ｘ線検診車のデジタル化事業では、胃部デジタル検診車Ｅ－57 号を県央メジカルセンターに配置した。

また、令和５年３月から新しい総合健診システムが稼働した。実施計画から請求入金管理までを兼ね備え、個人情報漏洩リスク防止の強化、特定健康診査の受付のシステム化、業務進捗管理の一元化などの機能を活用し、大きなトラブルなく運用できている。

（１）　母子・学校保健分野

母子保健の先天性代謝異常検査及び学校保健の尿検査等の事業は、新潟県の出生数及び児童数の減少に連動している。近年はその減少幅も顕著で、毎年６～７％程度減少している。

（２）　地域保健分野

特定健診は、昨年度の受診者数を維持しており、100.1％の実施であった。がん検診では、胃がん検診が前年度を下回ったものの、他のがん検診は前年度並みか上回る受診率であった。昨年度、受診件数が少なかった子宮がん検診は、コロナ禍の影響で受診年度がずれたことにより、前年度を上回る結果となった。

（３）　職域保健分野

職域健診においては、ここ数年、他の大型健診施設との競合のため、人間ドックの受診数や民間事業所の定期健康診断が減少するなどの影響が続いている。

（4）予防接種（新型コロナワクチン接種）

新型コロナウイルス感染症対策の一環としてのワクチン接種は、新潟市、小千谷市からの受託があり、地域住民を対象に 2,779 件のワクチン接種を実施した。

（5）健康づくり分野

住民対象の特定保健指導については、新規で三条市を受託したこともあり、実施数は増加した。

健康げんき倶楽部で実施している健康づくりセミナーは、引き続き人数制限をしながら実施した。

第２　今年度の目標

令和６年度は本県の人口減少や少子化、他法人の大型健診施設との競合などにより、事業量の減少傾向が続く厳しい状況を踏まえ、経営改善に取り組む年度としたい。

令和６年度における事業実施の目標数（述べ人数）は、次のとおりとする。

<u>検査・健診・感染症予防事業の実施計画数　７３６，７４０件</u>

（前年度計画比　９，９７０件の増加）

<u>健康づくり事業の実施計画数　１１，２６５件</u>

（前年度計画比　３１０件の減少）

この目標を達成するために、次の３点を重点課題とする。

（1）　地域保健においては、新型コロナウイルス感染症の５類への移行後も、受診者数がコロナ前の水準に戻っていないことから、市町村と連携して健診受診者数の回復を目指す。

（2）　新潟市や県央地区での他法人による大型健診施設の新設などを受け、人間ドックや民間事業所の定期健康診断の減少が見込まれる。これに対応

するため、新たな事業所や公務員職場などの健康診断の積極的な獲得を目指す。

（3） 人口減少や少子化という社会全体の大きな変化を踏まえ、当財団が担うべき公益事業の今後の在り方を検討する。

第3　検査事業の計画

健康状態の評価の基本となる検体の検査データの作成、解析、提供を行う事業である。本部（附属診療所）、中越メジカルセンター、県央メジカルセンター、成人病検診センターの４か所の健診現場から検査室に検体が搬入される。検査から結果報告にいたるまでの速やかな実施とともに、精度管理に努めることが第一の目標である。

＊（　）内の数字は、前年度計画数。以下同じ。

（1）　母子保健

新生児の各種代謝異常症や先天性甲状腺機能低下症などの疾病は早期に発見し、早期に治療を行うことにより知的障害等の心身障害を予防することが可能であることから、県及び新潟市からの委託を受け、この疾病の早期発見・早期治療を目的に、新生児に対し血液によるマス・スクリーニングを実施している。また、希少疾患に対する付加新生児スクリーニング検査についても、新潟大学内に設置された新潟希少疾患協会からの事務処理の受託を行う。

ア　先天性代謝異常検査	１１，８００（１２，５００）
イ　付加新生児スクリーニング検査	１０，０００（　６，７００）

（2）　学校保健

学校保健安全法に基づく尿検査は、市町村教育委員会などからの委託を受け、児童・生徒の腎臓病・糖尿病の早期発見・早期治療を目的に行われている。少子化の影響で年々実施数が減少している。

貧血検査（小児生活習慣病検査）は、学校保健安全法には義務付けられていないため、検査対象者を見直す市町村もあり、各市町村が独自の取り組みをしている。

ア　尿検査　（一次・二次）	１４３，０００（１４７，０００）
イ　貧血検査	７，４００（　７，４００）

（3）　感染症検査

結核のＱＦＴ検査は結核患者の発生の有無によって件数が変動するが、計画としては医療系学生対象の検査数を掲げる。大学・専門学校の医療関係学生は、実習前検査として肝炎ウィルスなどの各種抗体検査を実施する。また、腸内細菌検査は、上・中越の食品衛生協会を中心に検査を受託している。

ア　腸内細菌検査	３２，０００	（　３０，０００）
イ　食品検査	５５０	（　５３０）
ウ　ＱＦＴ検査	１，０００	（　１，０００）
エ　ＨＰＶ検査	９０	（　８０）
オ　血液検査（抗体）	５，５００	（　９００）

（4）　その他の検査

登録衛生検査所の受託事業として、新潟市医師会メジカルセンターなどからの血液検体委託検査、開業医からの子宮がん細胞診や病理組織検査を中心に実施する。

なお、病理検査機器が老朽化していることに加え、受託検査の件数が減少していることなどを踏まえ、病理室の今後のあり方を検討する。

ア　新潟市医師会等からの血液受託検査	０	（　５００）
イ　開業医等からの病理受託検査	３，２００	（　２，５００）

第４　健診事業の計画

健診事業は、疾病の予防と早期発見・早期治療を目的とし、県民の健康を維持するための重要な活動である。とりわけ、当財団は市町村保健行政の補完的な役割を担っている。

引き続き、より良い健診体制を構築し、学校保健や地域保健の中核健診機関としての責任を果たして行きたい。

（1）　学校保健

学校保健安全法に基づき、小学校・中学校・高等学校の１年生を対象に、心疾患の早期発見、予防を目的として心臓検診を行う。また、学校定期健康診断における結核の発見率は低下しているが、集団で生活する学校は感染症が蔓延しやすい環境であり、法令に基づき、高校１年生などを対象とする結核検診（胸部Ｘ線撮影）を実施する。

ア　結核検診	３１，０００	（　３０，０００）

イ　心臓検診	３４，０００	（　３４，０００）
ウ　学生健診	１１，０００	（　１２，３００）

（２）　地域（住民）健診

高齢者医療確保法に基づく特定健診･特定保健指導及び健康増進法に基づき市町村が実施する各種がん検診は、高齢化、人口減少に伴って年々、受診者が減少している。今年度、県央地区にオープンする大型健診施設に一部移行する市町村があり特定健診などは受診者数が減少する見込みである。引き続き市町村と連携を密にし、受診者数の維持に努める。

ア　特定健診	３１，７００	（　３２，４００）
イ　結核検診	９４，５００	（　９３，０００）
ウ　肺がん検診	１１７，０００	（１１７，０００）
エ　喀痰細胞診	１，１００	（　１，０００）
オ　胃がん検診	１３，５００	（　１４，５００）
カ　大腸がん検診	３０，５００	（　３１，０００）
キ　乳がん検診（マンモグラフィ）	１７，５００	（　１９，０００）
ク　子宮がん	１２，０００	（　１１，０００）
ケ　前立腺がん検診	４，２００	（　４，６００）
コ　骨粗しょう検診	１，０００	（　９００）

（３）　職域（事業所）健診

職域健診では、市町村職員や学校教職員等の健康診断を安定して実施しているが、地域健診と同様に、今年度、県央地区にオープンする健診施設への移行が懸念される。今後の動向に注視し、ニーズの掘り起こしに努め、渉外活動の強化を目指す。

最近の傾向として産業医の契約を含む､総合的な検診の委託が増加しており、産業保健分野の医師をはじめとするスタッフの確保が課題である。

ア　事業所定期健診（出張）	２０，０００	（１４，７００）
イ　事業所定期健診（ホール）	１５，５００	（１４，５００）
ウ　事業所の胸部検診	３５，０００	（３５，０００）
エ　事業所の胃がん検診	１２，５００	（１２，５００）
オ　事業所の大腸がん検診	１４，０００	（１４，５００）
カ　事業所の乳がん検診（マンモグラフィ）	４，１００	（　３，９００）
キ　事業所の子宮がん検診	５，０００	（　５，０００）
ク　事業所の前立腺がん検診	１，５００	（　１，５００）
ケ　事業所の骨粗しょう検診	２００	（　２００）

（4）　人間ドック健診

成人病検診センターにおける人間ドックの受診者数は、新潟市内の他の大規模健診施設の影響を受け、民間健保の受診者が減少している。一方、消化器内科の医師不足で受け入れ数を制限していた胃内視鏡体制は、医師の確保ができ以前のように体制が整ったため、人間ドック全体の受診者数の増加が見込める。また、経年受診者への早期の案内や広報活動などで受診者数の増加を図る。

ア　人間ドック	３，２００	（　３，２００）

第５　健康づくり支援事業の計画

健診事業や検査事業により得られた結果を活用し、医師及び保健師などによる個別指導や健康相談、健康講座などを積極的に行う。

（1）　特定保健指導

「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく特定保健指導については、市町村主催の糖尿病予防事業とのタイアップや協会けんぽの生活習慣病健診などと連携し、対象者の掘り起こしに取り組む。

ア　住民対象の特定保健指導	１８０人	（１００人）
イ　職域対象の特定保健指導	２１０人	（２００人）
ウ　健康げんき倶楽部における単独の特定保健指導	１５人	（　２０人）

（2）　ストレスチェック

労働安全衛生法に基づくストレスチェックの実施は、原則として、従業員の健康診断を受託している事業所に対して行うこととする。調査項目の検査の実施だけでなく、医師の面接を含めたトータルな受託を基本に、質の高いストレスチェック事業を推進したい。

ア　ストレス検査	６，５００人	（　６，５００人）
イ　医師面接指導	１５人	（　２０人）
ウ　メンタルヘルス相談	５人	（　５人）

（3）　生活習慣病予防事業

ア　糖尿病予防事業

境界型糖尿病、耐糖能異常者の早期発見と早期の教育、生活指導に積極的

に取り組む。

130人　　（150人）

イ　喫煙予防事業

一部の禁煙治療薬の出荷停止が続いているが、外来での診療を通して禁煙指導を行う。

(4)　健康相談

健康診断の結果を踏まえ、保健師・管理栄養士などの専門職が受診者の健康に関する悩みごとなどに対応する。

ア	人間ドックにおける健康相談	3，200人	（3，200人）
イ	事業所などの定期健康診断における健康相談 新潟市特定健康診査における健康相談 労災二次健康診断における特定保健指導他	500人	（ 900人）
ウ	健康げんき倶楽部における健康相談	80人	（ 100人）
エ	産業カウンセラーによるカウンセリング	30人	（ 30人）

(5)　健康教育

市町村、学校、事業所、地区組織などが開催する講演会などに専門スタッフを講師として派遣するほか、健康げんき倶楽部において、少人数制の健康づくりセミナーなどを推進していく。

ア	第20回市民健康講座の開催	150人	（ 100人）
イ	健康づくりセミナー	100人	（ 150人）
ウ	連携講座の開催	50人	（ 0人）
エ	講師派遣	100人	（ 100人）

(6)　感染症予防（予防接種）事業

主として医療従事者や学生を対象に、B 型肝炎、麻疹、風疹、ムンプス、水痘などの予防接種を行い、迅速な流行発生予防に寄与する。

インフルエンザワクチンの集団接種は、個別接種に移行する学校が増えてきている。

ア	予防接種（インフルエンザ）	6，500人	（ 7，000人）
イ	予防接種（肝炎ワクチン）	1，000人	（ 600人）

(7)　高齢者・障害者、外国人への対応

ア　高齢者・身体障害者への受診対応

車いす対応リフト付き胸部Ｘ線検診車（Ｄ－１１号）を活用し、高齢者や障害者の施設に入所している者に対する胸部Ｘ線検査の拡充に取り組む。

イ　外国籍住民検診

全国的に外国籍住民による結核の増加が問題になっており、健康診断を受ける機会が少ない外国籍の住民に対し、引き続きボランティア団体と協力して無料の胸部（結核）検診を行う。

第６　その他の計画

（1）　健診・検査等の設備投資

健診・検査事業の水準を維持・発展させていくためには、絶えず最新の医療機器を導入していく必要がある。

令和６年度の主な設備投資の計画は、前年度（令和５年度）からの２か年継続事業を含め次のとおりである。（返済を除く）

ア　乳がん検診車（撮影装置１基搭載）（２か年継続）

撮影装置１基搭載の乳がん検診車リボン号の撮影装置の保守が令和５年１２月の終了に伴い、１基搭載の乳がん検診車を更新し、令和６年４月に納車予定である。

乳がん検診車（１基搭載）１台　　56,045,000　円
キヤノンイメージングシステムズ株式会社

イ　胃がん検診車

県央メジカルセンターに配置している胃がん検診車（Ｅ－53 号）が設置より１３年経過し老朽化している。ＪＫＡ補助事業を活用し、更新を予定しているが、採択されなかった場合は全額自己資金での対応となる。

胃がん検診車（Ｅ－53 号後継）　　66,000,000　円
（ＪＫＡ助成金は 27,000,000 円）

ウ　胸部検診車（Ｄ－10 号）蓄電池載せ替え

蓄電池はレンタル品であり、搭載より５年後が載せ替え時期で、令和６年度末にその期限となる。

（株）パワーアシスト　　4,000,000　円

エ　成人病検診センターの建物設備

受水槽及び高置水槽の入替工事　　　　　　　　　10,120,000　円

計　　新規計画（返済を除く）　　136,165,000　円（概算）

（２）　職員の資質向上

ア　学会、講習会、研修会等は、コロナ禍からのオンライン開催も継続されつつ対面式での開催に戻ってきているものも多い。オンライン開催、対面開催ともに職員の資質向上や専門知識・技術の習得のため、積極的に参加させる。

イ　産業保健分野において産業医のニーズが増えていることから産業医資格保有医師の確保、または、産業医資格取得に向けて取り組んでいく。また、放射線技師や臨床検査技師などの専門職においてもスキルアップのため、各種がん検診や超音波検査などの認定技師取得に取組んでいく。

（３）　関連機関への参加協力

ア　「結核予防会」及び「予防医学事業中央会」への加盟
それぞれの中央本部と連携し、新潟県支部の活動を推進する。

イ　新潟県検診機関協議会への参加協力
協議会の実施する会議・研修会に参加するほか、肺がん検診部会委員長施設として、より精度の高い検診が実施できるよう、会の運営に協力する。

（４）　当財団主催の専門委員会等の開催

健診検査業務の精度の向上を図るとともに新潟大学や医師会等と連携して事業を円滑に実施するため、当財団主催の専門委員会等を下記のとおり開催する。

ア　肺がん検診専門委員会(隔月に開催)	令和６年５月～令和７年１月
イ　母子関係事業（代謝異常）懇談会	令和７年２月 （新潟大学小児科教室と共催）
ウ　胸部検診読影委員会	令和７年３月 （新潟市医師会と共催）
エ　子宮がん検診委員会	令和７年３月

（新潟大学婦人科教室と共催）

（５）「経営方針案及び移設改築等検討小委員会」の開催

令和５年６月に設置した小委員会で引き続き、「経営方針」及び「移転改築等」について検討を行う。

令和6年度　検査・健（検）診　事業計画

事業区分				令和6年度	令和5年度		A/C（%）
				（A）計画数	（B）計画数	（C）実績見込数	
検査事業	母子	先天性代謝異常検査		11,800	12,500	12,200	96.7
検査事業	母子	付加新生児スクリーニング		10,000	6,700	9,300	107.5
検査事業	学校保健	寄生虫検査　ぎょう虫					
検査事業	学校保健	尿検査		143,000	147,000	145,143	98.5
検査事業	学校保健	貧血検査（小児生活習慣病含）		7,400	7,400	7,521	98.4
検査事業	感染症	腸内細菌検査		32,000	30,000	31,500	101.6
検査事業	感染症	食品検査		550	530	530	103.8
検査事業	感染症	ＱＦＴ検査		1,000	1,000	660	151.5
検査事業	感染症	ＨＰＶ検査		90	80	30	300.0
検査事業	感染症	血液検査（抗体）		5,500	900	5,500	100.0
検査事業	受託	血液　（新潟市医師会）		0	500	150	0.0
検査事業	受託	病理　（開業医・他健診機関）		3,200	2,500	3,200	100.0
健診事業	学校保健	結核検診（高１年生・大・専門学生）		31,000	30,000	31,400	98.7
健診事業	学校保健	心臓検診（小・中・高生）		34,000	34,000	34,387	98.9
健診事業	学校保健	学生健診（内科含む高・大・専門学生		11,000	12,300	11,400	96.5
健診事業	地域検診（巡回健診）	特定健診健康診査		31,700	32,400	32,721	96.9
健診事業	地域検診（巡回健診）	再掲	全委託	29,200	30,000	30,142	96.9
健診事業	地域検診（巡回健診）	再掲	一部委託	2,500	2,400	2,579	96.9
健診事業	地域検診（巡回健診）	肝炎　特定・単独		1,500	1,600	1,594	94.1
健診事業	地域検診（巡回健診）	前立腺がん　特定・単独		4,200	4,600	4,316	97.3
健診事業	地域検診（巡回健診）	糖負荷試験		100	60	115	87.0
健診事業	地域検診（巡回健診）	胸部検診	結核検診　間接撮影	94,500	93,000	94,119	100.4
健診事業	地域検診（巡回健診）	胸部検診	肺がん検診 間接撮影	117,000	117,000	116,539	100.4
健診事業	地域検診（巡回健診）	胸部検診	喀痰細胞診	1,100	1,000	1,023	107.5
健診事業	地域検診（巡回健診）	胃がん検診		13,500	14,500	13,948	96.8
健診事業	地域検診（巡回健診）	大腸がん検診		30,500	31,000	31,085	98.1
健診事業	地域検診（巡回健診）	乳がん検診		17,500	19,000	17,712	98.8
健診事業	地域検診（巡回健診）	再掲	（マンモ1方向）			15,137	
健診事業	地域検診（巡回健診）	再掲	（マンモ2方向）			2,575	
健診事業	地域検診（巡回健診）	子宮がん検診		12,000	11,000	11,980	100.2
健診事業	地域検診（巡回健診）	骨粗しょう検診		1,000	900	964	103.7

事業区分					令和6年度	令和5年度		A/C（%）
					（A）計画数	(B)計画数	（C）実績見込数	
健診事業	職域検診	巡回	定期健康診断		20,000	14,700	19,800	101.0
		施設	ホール健診		15,500	14,500	15,400	100.6
			ドック		3,200	3,200	3,042	105.2
		各種検査・がん検診	特殊健診		2,500	2,300	2,600	96.2
			胸部検診(単独.巡回・施設)		35,000	35,000	33,400	104.8
			喀痰細胞診		600	400	590	101.7
			胃がん検診		12,500	12,500	12,170	102.7
			大腸がん検診		14,000	14,500	13,600	102.9
			乳がん検診		4,100	3,900	4,000	102.5
			子宮がん検診		5,000	5,000	4,470	111.9
			前立腺がん検診		1,500	1,500	1,440	104.2
			骨粗しょう検診		200	200	185	108.1
健康支援		感染予防	予防接種		7,500	7,600	7,097	105.7
			（内訳）	インフルエンザ	6,500	7,000	6,216	104.6
				B型肝炎	1,000	600	853	117.2
				麻疹・風疹（MR）	0		1	
				ムンプス	0		23	
				水痘	0		0	
				肺炎球菌	0		3	
				破傷風	0			
				帯状疱疹	0		1	
			新型コロナワクチン				2,779	
総計					736,740	726,770	739,610	99.6

令和6年度　健康づくり支援事業実施計画

	事業区分＼年度		令和6年度	令和5年度		前年度比較
			(A) 計画数	(B) 計画数	(C) 実施見込数	A/C (%)
健康支援	特定保健指導	住民健診	180	100	151	119.2
		職域健診	210	200	223	94.2
		健康げんき倶楽部	15	20	15	100.0
	ストレスチェック	ストレス検査	6,500	6,500	6,523	99.6
		医師面接指導	15	20	18	83.3
		メンタルヘルス相談	5	5	0	#DIV/0!
	生活習慣予防	糖尿病予防事業	130	150	135	96.3
		喫煙予防事業	0	0	0	#DIV/0!
	健康相談	人間ドック健康相談	3,200	3,200	3,042	105.2
		定期健康診断・労災２次・新潟市特定における健康相談	500	900	890	56.2
		健康げんき倶楽部 健康相談	80	100	90	88.9
		産業カウンセラーによる　カウンセリング	30	30	45	66.7
	健康教育	市民健康講座	150	100	150	100.0
		健康げんき倶楽部 健康づくりセミナー	100	150	117	85.5
		連携講座	50	0	46	108.7
		講師派遣	100	100	102	98.0
	総　計		11,265	11,575	11,547	97.6